



府中市立南白糸台小学校

幸が森だより

URL <http://www.fuchu19s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和5年 7月20日

NO. 563

校長 西尾 克人

TEL 042-365-5381

FAX 042-334-0883

相手が幸せだと、自分も幸せになる(双方向の幸せ)

校長 西尾 克人

相手が「ありがとう」と言ってくれたら、自分も「こちらこそ、ありがとう」という気持ちになります。**これが双方向の幸せです。**赤ちゃんに微笑むと、赤ちゃんも同じような笑顔を作ることがあります。そうやって、赤ちゃんは、心地よい人間関係を築く力(コミュニケーションの力)を身に付けていきます。

この、人間等霊長類の独特の行動は、前頭葉の一部にあるミラーニューロンが関係していることが分かってきました。(右図参照)

ミラーニューロンは、そばにいる人と同じ表情をしたり、相手の感情をそのまま反射したりする、つまり、相手の気持ちを鏡のように反射する脳の細胞です。例えば、テレビで笑っている人を見ると、自分自身の脳内の笑う領域も活性化され、楽しい気分になります。泣いている人を見ると、悲しい気持ちになります。

最近、「幸せを運ぶタクシー(今井 泉 著)」という本を読みました。今井さんはタクシーの運転手です。

今井さんは、乗客に「四つ葉のクローバー」を渡しています。乗客の笑顔を見たいからです。13000本以上のクローバーを渡し続けているのです。そして、今井さんは「お客さんの笑顔や喜ぶ様子を毎日見せてもらうことが、私を優しい人間にしたと考えています」と話しています。

今井さんの優しい行動が乗客を幸せにしました。また乗客が笑顔を見せると、今井さんも心が穏やかになったのです。私は、今井さんの双方向の幸せは、「ミラーニューロンの効果ではないか」と考えます。

また、ミラーニューロンは、「体験」によって友達と同じ状況をつくることにより、仲間意識を高める機能もあります。

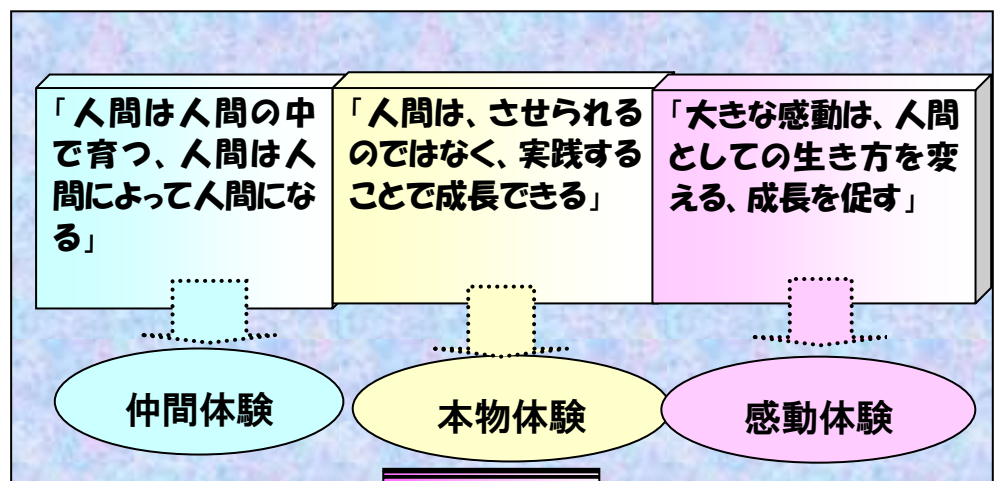
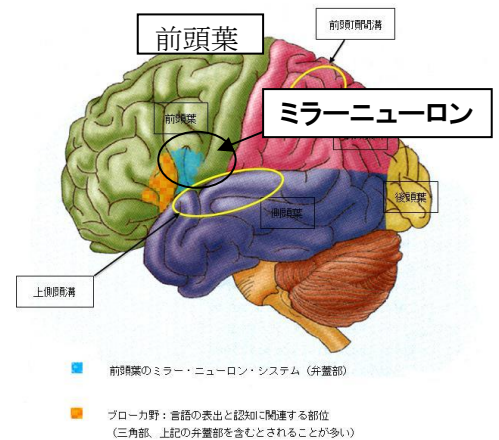
南白糸台小学校では、共に生きていく心を育てていくため、3つの体験を重視しています。「仲間体験」「本物体験」「感動体験」です。

「仲間体験」は、運動会や遠足などの体験です。

「本物体験」は、オリンピック選手や東京外国語大学の留学生との交流などの体験です。

「感動体験」は、高学年の宿泊学習や社会科見学などの体験です。

これらの体験を通して、人の感情や気持ちが分かる子どもになってほしいと思うのです。南白糸台小学校を、「双方向の幸せ」でいっぱいになりたいと思っています。



共に生きていく心(豊かな心)を育て、
ミラーニューロンを活性化させる